

研究基盤イノベーション分科会 (IRIS)・文部科学省 連携企画

研究基盤 EXPO 2023

共用と研究基盤の今!

2023.1.25(水) - 27(金)

参加費無料

25

水

オンライン

先端研究基盤共用促進事業シンポジウム

文部科学省が実施する先端研究基盤共用促進事業「先端研究設備プラットフォームプログラム」「コアファシリティ構築支援プログラム」の活動報告を通して、産学官の研究者に開かれた研究設備・機器の実現に向けた、大学・研究機関の先進的な取組や今後の発展についての課題等を紹介します。

対面・オンライン

研究基盤協議会シンポジウム

研究基盤協議会は、自立したサステナブルな研究基盤システム構築を目指して、運営基盤を強化し、社会的信用を得て、目標実現へ向けて実効的かつ持続的な活動を行うため、一般社団法人としてスタートします。社団化に至る背景や今後の展望について報告します。また特別企画では、研究力向上のためのチーム共有の在り方や地方・地域への貢献について、取り組み事例を交えて議論します。

27

金

オンライン

東京工業大学オープンファシリティセンター TC カレッジシンポジウム

本イベントでは、TC カレッジの取り組みの説明とともに、本年度から受け入れを開始した学外受講生も加えた複数の発表者による、TC カレッジに参加することになった経緯や期待していることの紹介、及びサテライト校の取り組みを報告する。加えて、TC カレッジの将来構想と「高度技術人材育成」の向かう先について参加者と共に議論します。

オンライン

研究基盤イノベーション分科会シンポジウム

JASIS2022 の 10 周年記念講演「研究環境の進化と科学・分析機器の未来～社会課題を解決に導く研究インフラのあり方～」の続く企画として、これまでの科学技術政策により発展してきた研究基盤を、さらに飛躍、発展させるための産官学連携と人材について、我々はいま何をすべきか、分析機器メーカーを交え、議論します。

主催：研究・イノベーション学会 研究基盤イノベーション分科会 (IRIS)
共催：文部科学省, 研究基盤協議会 (CORE)
後援：山口大学, 一般社団法人日本分析機器工業会 (予定)

シンポジウムの詳細, 参加登録はこちら
研究基盤 EXPO ホームページ
<https://iris.kagoyacloud.com/riexpo2023/>



事前参加登録制・登録締切 2023年1月18日(水)

お問い合わせ先

研究基盤イノベーション分科会事務局
E-mail : koho@iris-jsrpm.jp



研究・イノベーション学会
研究基盤イノベーション分科会
Innovative Research Infrastructures for STI Subcommittee (IRIS)



研究基盤協議会



文部科学省

YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

JAIMA
一般社団法人 日本分析機器工業会
Japan Analytical Instruments Industry Association

研究イノベーション分科会 及び研究基盤協議会

産学官が有する研究施設・設備・機器・技術といった「研究基盤」は、あらゆる科学技術イノベーション活動を支え、その戦略的な整備は本来重要な政策課題です。しかし、これまで研究基盤に対する政策的関心は低く、関連する予算・事業規模も限定的であったため、大学等における研究基盤の整備は進んでいない状況です。そのため、研究基盤に関する政策研究や IR (Institutional Research)、設備や技術のデータベースの整備、それらを取りまとめるための専門人材の確保も十分とはいえません。研究基盤イノベーション分科会はこうした課題に対し、産学官のステークホルダーが組織や立場を超えてオープンかつフェアに議論するための「場」となるべく設立されました。また、研究基盤協議会は文部科学省事業採択校の有志を中心にした国公私大そのほか関係機関を含む多様なステークホルダーが議論する新たな協議の場として設立され、研究基盤イノベーション分科会とクロスオーバーしながら活動しています。



研究基盤を学術的に捉え、議論する場

研究・イノベーション学会
研究基盤イノベーション分科会
Innovative Research Infrastructure for STI Subcommittee

- ◇ リサーチ・アナリシス機能
(研究基盤を科学し年会・論文で発表する。研究基盤の議論に活かす。)
- ◇ アーカイブ機能
(研究基盤に関わる情報を保存し、誰もが閲覧可能とする)
- ◇ プランニング機能
(研究基盤協議会提案分の企画立案の実現化に向けた取組)
(学会員限定の企画立案実施)



研究基盤協議会

- ◎ 協議すべきテーマは部会化、部会がアンケート調査・分析などを行い議論をリードする
- ◎ 新規テーマの提案=新部会の立ち上げは随時可能

- ◇ クロスオーバー機能
(各ステークホルダーが組織・立場を超えて研究基盤を議論する)

- 部会 1 戦略的経営に資する研究基盤のあり方を検討
- 部会 2 研究基盤共用システム(研究基盤IR含)のあり方を検討
- 部会 3 研究基盤に関わる人材育成(技術職員等)のあり方を検討
- 部会 4 地方・地域貢献に資する大学等の研究基盤のあり方を検討
- 部会 5 研究基盤に関わるエビデンス(技術職員等)のあり方を検討

アドバイザーボード
採択事業校担当理事などによる支援

若手ネットワーク
研究機関・文科省の若手が自由闊達に議論

技術職員コンソーシアム TAMARIBA
技術職員による技術職員の集い

- ◇ アウトリーチ機能：年に1度の総合シンポジウムの開催 (幹事校を中心とした実行委員会にて開催、研究基盤に関わる情報を収集し、適切に発信する)

- ◇ 共同事務局 総務：①名簿・連絡先等、個人情報の管理 ②会議日程・会場等の調整や連絡 ③議事録作成・保管
財務：①予算管理 ②予算配分(研究基盤協議会の活動に IRIS の予算を一部~全部投入) ③会計報告
広報：①HPの維持・管理・アクセス分析 ②HPやSNSによる情報発信を目的とした入力作業
③提供された資料(原稿等)の内容確認・確保・管理 ④広報室活動の活性化・改善につながる提案